

第31回全国重要無形文化財保持団体協議会鈴鹿大会及び 第30回重要無形文化財保持団体秀作展 日本の伝統美と技の世界について

全国重要無形文化財保持団体協議会は、伊勢型紙技術保存会をはじめとする全国16の重要無形文化財保持団体と24関係市町村によって平成4年6月に重要無形文化財の保護、発展を図る目的で発足しました。

全国の各市町村の輪番制で毎年大会及び秀作展を実施しており、本年度は14年ぶりに鈴鹿市にて大会を、津市の三重県総合博物館にて秀作展を開催いたします。

1 第31回全国重要無形文化財保持団体協議会鈴鹿大会

(1)日時

令和6年10月17日(木) 10時30分から14時40分まで

10:30~12:00 大会・総会

12:00~13:00 休憩

13:00~14:10 記念講演会「無形文化財の防災」

独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター長

高妻 洋成氏

14:10~14:40 防災に関するアンケート結果報告(文化庁)

※15時40分からは、三重県総合博物館(MieMu)において秀作展のテープカットを実施します。

(2)場所

イスのサンケイホール鈴鹿

※テープカット会場:三重県総合博物館(MieMu) 津市一身田上津部田 3060

(3)参加の可否

大会・総会は関係者のみ。記念講演会は一般聴講可能。

(4)内容

重要無形文化財の保存に関する調査及びその具体的方策の推進を図り、技術伝承と保存活用に向けて協調して取り組む目的で実施します。あわせて付帯事業として、独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター長の高妻洋成氏を講師としてお迎えし、講演会(「無形文化財の防災」)を行います。

【補足】重要無形文化財とは

文化財保護法に基づく、演劇、音楽、工芸技術その他の無形文化的所産で、我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いものを「無形文化財」と言います。無形の文化財は、人間の「わざ」そのものであり、このうち、特に重要なものを「重要無形文化財」に指定し、同時にこれらの「わざ」を高度に体現しているものを保持者または保持団体に認定し、我が国の伝統的な「わざ」の継承を図っています。

2 第30回重要無形文化財保持団体秀作展 日本の伝統美と技の世界について

(1) 日時

令和6年10月18日(金)から10月27日(日)まで

9時30分から16時30分まで

※10月21日(月)は休館日

(2) 場所

三重県総合博物館(MieMu)交流展示室ほか 津市一身田上津部田 3060

(3) 入場料

無料(常設展示・特別展示を観覧する場合は別途料金が必要です。)

(4) 内容

秀作展は、日本の宝とも言える重要無形文化財の持つ伝統美と技を広く一般に公開し、伝統工芸への理解を深めていただくことを目的に開催します。

全国16の保持団体から選りすぐられた作品約70点の展示と4団体(色鍋島・輪島塗・本美濃紙・伊勢型紙)による製作実演を実施します。

3 主催

全国重要無形文化財保持団体協議会

全国重要無形文化財保持団体協議会鈴鹿大会実行委員会

4 共催

鈴鹿市、鈴鹿市教育委員会、三重県教育委員会、伊勢型紙技術保存会

5 協力

伊勢型紙産地協議会、鈴鹿市観光協会、三重県総合博物館(MieMu)

6 添付資料

- ・保持団体及び加盟市町村一覧表
- ・ちらし

[問合せ先]

鈴鹿市文化スポーツ部文化財課 担当:大窪・今坂 TEL 059-382-9031